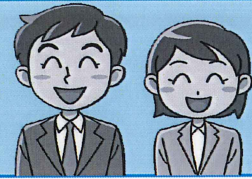


# 進めています!自己改革



今、私たちは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの目標を掲げ、平成31年3月までに一定の成果を上げることを目指し、佐賀農業・地域を支える大きな役割を果たす組織として自己改革を進めています。

自己改革について十分な結果が残せるように、私たちは、その具体策を3カ年計画や各事業年度の計画に盛り込んで進めており、その主だった取り組みと進捗状況等を次のとおり報告します。

まだまだ、組合員の皆さんの期待・要望に、十分応えきれていない部分は多いと思います。これからも組合員の皆さんの声を聴き、真剣に議論して確かな方向性を見出す協同組合としての自己改革を進めていきます。

私たちは、平成28年1月26日に自己改革を進めるため組合員全体会議を開催しました。  
『組合員と歩むこれからの3ケ年』～10年後を見据えて～



## 農業者の所得増大と農業生産の拡大につながる取り組み

平成28年6月、当JAの組合員の生産拡大とコスト低減につながる取り組みである「県域企画応援事業」について広く知ってもらうため個別に生産者を訪問し説明を行いました。

その結果、フォークリフトの導入を検討されていた生産者から当該事業を利用したいとの声が挙がり、フォークリフトの購入資金の40%を助成しました。

フォークリフトが導入されたことで肥料農薬の満車直行や、大型規格の利用拡大につながっています。

JAから県域企画応援事業のことを聞き、それを活用することで、フォークリフトを導入することができました。

そのおかげで、生産資材の移動が容易になり、大型規格の利用も気軽に出来るようになり、省力化・低コスト化に大きく貢献しています。

今後もこのような、農家のためになる取り組みに期待しています。



### 県域企画応援事業とは？

県域企画応援事業は、JA大会で決議した「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の実現に向けた取り組みであり、JAグループ佐賀において担い手支援を行い、農業生産振興を図るための事業です。



## 地域の活性化につながる取り組み

当JAにおいては、地域に根差したJAとして地域住民の暮らしを応援するため、平成26年度より地域貢献活動・活性化の一環として、子育て世代応援活動を行っています。

年に数回、様々なイベント等をJA単独で企画するのではなく、地域の子育て支援団体と一緒に企画・実践し、地域の活性化を目指した活動を行ってきました。

その結果、多くの子育て世代の方々から喜びの言葉をいただくことができ、地域活性化の一助になったとともに、JAのことも知っていただけたのではないかと思います。

今後も、子育て世代の応援を通じて地域におけるJAとしての役割をしっかりと果たしていきます。

### 《平成28年12月14日開催 子育て応援バスツアー》

～内容～

バスツアーを通じてJAと地域の子育て世代との交流を深める事を目的としました。

- ① バスで移動中に紙芝居を実施
- ② 昼食が終わった子供が会場内でお菓子を探して楽しめるイベントを実施
- ③ ビンゴ大会(景品はお米5kg)
- ④ 親御様は温泉で日頃の育児の疲れを癒して頂き、その間はJA職員がお子様と交流イベント



～主な利用者の声～

- イベントに子供をつれていけて楽しく過ごせました。助けてくださったスタッフの方ありがとうございました。JAについて知らなかったので、知る機会ができて良かったです。
- JAのお兄様方、みなさん笑顔で一生懸命さが伝わってきました。JAの説明も劇まじりで分かりやすかったです。お世話になりました。
- JAのスタッフのそれぞれの方がとても心配りをされていて好感度がすごくアップしました。子育て経験のない人も子供になつかれて、やさしさを感じました。



## 地域の活性化につながる取り組み

### 《平成29年3月20日開催 ひなまつりイベント》

#### ～内容～

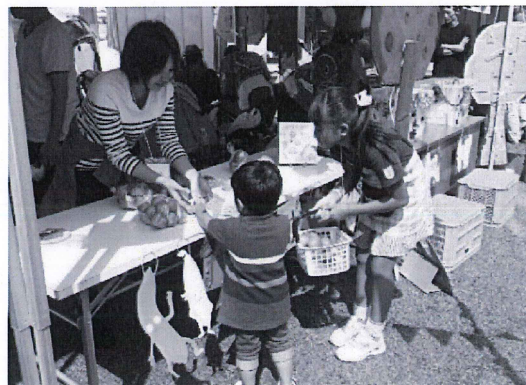
子育て支援団体と一緒に企画し、地域の活性化と子育て応援を目的としました。

- ① 街なかキャンプ  
羽釜ご飯やBBQコーナー  
(お米はJAから提供・その他の材料等は地域との交流・活性化に少しでも繋げられるように近隣商店から購入)
- ② 街なか運動会
- ③ ステージイベント



#### ～主な利用者の声～

- 楽しい時間をありがとうございます。これからもどうぞイベントなど宜しくお願いします。
- 秋にこどもくらぶに入会して、とても良くしていただきました。ありがとうございました。無事出産しました。





## 地域の活性化につながる取り組み

当JAでは、地域に根差したJAとして、地域の子供たちに「農業」への理解と、「食」と「農」の大切さを実感してもらう機会として、『田植え』・『稲刈り』・『芋ほり』体験等を実施しています。体験では、青壮年部・女性部・農業生産法人の佐賀中央アグリビズが中心となって先生役を担ってもらうことで、子供たちや保護者の方々との交流の場にもなっています。

### 《平成28年10月18日開催 稲の収穫体験》

～内容～

地元の幼稚園児・小学生を対象とした稲の田植え・収穫体験を実施しました。「農業」を身近に感じてもらうことを目的としました。

- ① 6月 田植え体験実施
- ② 10月 稲刈り体験実施
  - ・鎌での手刈り体験
  - ・脱穀作業体験



### 《平成28年10月31日開催 芋ほり体験》

～内容～

地元の児童を対象に、サツマイモの植え付け・収穫体験を実施しました。「農業」を身近に感じてもらうことを目的としました。

- ① 5月 植え付け体験
- ② 10月 収穫体験





地域の活性化につながる取り組み

## 平成29年11月26日 創立70周年感謝祭

創立70年の節目の年にあたり、組合員・利用者及び地域の皆様へ日頃の感謝とJAの事業や役割についての理解を深めてもらう機会とすることを目的としました。

また、JAの利用実態や認知度についてのアンケートも実施しました。アンケート結果を踏まえ、今後もより身近で親しみのあるJAを目指した取り組みを継続していきます。

